

みなさんこんにちは。今日は「出会い」ということについて話をします。

4月は出会いが多い時期です。入学式・入社式・サークル活動への参加、結婚式などさまざまな場面での出会いが浮かんできます。

先日、私は中日劇場でお芝居を見てきました。そこでは、法然上人と若き親鸞との出会いが演じられておりました。法然上人を師と仰ぐ親鸞の運命的な出会いであったにちがいありません。法然上人との出会いがなかったならば、現在、浄土真宗の祖と仰がれる親鸞聖人は、存在していなかったと思われます。「たとえ、法然上人にだまされて、地獄へ落ちようとも、地獄は私のすみかである」とまで、一途に師を信じきることのできる親鸞という人は実にすばらしいと思えます。

私における出会いの中で、一番大切にしているものはお念仏との出会いです。「南無阿弥陀仏」と称えるだけで、お浄土への道を約束してくださる。また、「決してお前を見捨てないぞ」という力強い信頼感。何か称えているだけで不思議な力が、身体の底から湧いてきそうな気がするのです。

「一人でいる時は二人と思え。二人でいる時は三人と思え。その一人は親鸞なり」という言葉を聞いたことがあります。私にとって、親鸞さまはもちろん大切な方ですが、いつも一緒に居てくださっているのは阿弥陀様の方が強く感じられます。南無阿弥陀仏の念仏の中には、阿弥陀様が「いつもお前と一緒にだぞ」と呼びかけてくださっているように思えるのです。私のこれからの人生という歩みの中で、旅の道連れとして、常に阿弥陀様がおられることを大変力強く感じられるのです。みなさんも是非、自分の人生の道連れとして阿弥陀様を迎え入れてはいかがでしょうか。人との出会いもすばらしいことですが、お念仏との出会いも、また尊いものになるにちがいありません。